

# 第3節 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の機会活用

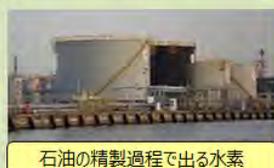
## 取組の意義

1節、2節で示す課題について、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の機会を現実的な出口として産業化を促進し、日本発の科学技術イノベーションを世界に発信する場とする。

## 想定されるプロジェクト例

水素による発電や燃料電池車（FCV）等を活用した環境に優しい大会の実現

### 水素の製造・輸送



### 大会への活用



### 水素の貯蔵



CO<sub>2</sub>排出ゼロ

あらゆるサービス提供に意思伝達サポートを活用し、選手や来訪者の安心・安全・快適な滞在を実現



言葉の壁をなくす

大会後も「成長の好循環」に貢献するプロジェクトであることを重視

総合科学技術・イノベーション会議主導の下でタスクフォースを設置し、関係機関との調整の下で具体的な取組内容や工程表を検討